

令和2年度 吉野町市民プラザ 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%以内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和2年度計画		実施状況		評価		
I 文化事業目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価	
1 市民への文化芸術の鑑賞、創作活動の機会を提供します	①地域の方が身近な施設で、質の高い文化芸術を体験する機会、きっかけをつくります。	□「円熟のアーティストシリーズ」入場者数	160名(年1回)	中止	-	感染症拡大防止などを考慮し、中止	【成果】 ・1年を通してコロナ禍となり、予定・企画を検討していた多数の自主事業の実施を断念せざるをえなくなりました。 ・横浜トリエンナーレ応援事業として実施したW.S.「光のオブジェをつくろう!」は、予定人数を超えるお申し込みがありました。 ・「わたしのギャラリー」「朝からグランドピアノ」は、あまり感染症拡大の影響は受けず、ほぼ年間目標を達成できました。 【課題】 ・会場でリアルに体験できるコンサート・ワークショップ等に勝るものはないと思いますが、コロナ禍でも楽しめる配信も併用したイベント・配信限定のイベントなどにより積極的に取り組み、市民の皆様にも文化芸術を楽しんでいただける事業の展開を検討していきます。	【評価する点】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により多くの事業が中止・延期を余儀なくされるなか、感染症対策の上で「アート寺子屋」「ギターワークショップ」などを実施し、文化活動の継続に取り組んでいることを評価します。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により地域連携型イベントの中止が相次ぐ厳しい状況の中、「学校プログラム事業」を実施したことを評価します。 ・「WEB・映像制作講座」について、必要に応じてウェブでの発信に切り替えるなど、可能な範囲で工夫しながら実施したことを評価します。 ・利用率が下がるなか、空き施設を利用して「朝からグランドピアノ」等の事業を実施し、施設を有効活用する工夫に取り組んでいることを評価します。 ・感染症対策により中止になった事業についても、「光のぶろむなあと」などについて施設のウェブサイトにも動画を載せるなど、代替手段の検討に取り組んでいることを評価します。 ・地域のイベント「野外映画会」について協力をし、文化的コモンズの形成に寄与していることを評価します。 ・指定管理者の強みを活かし、映像ノウハウを持つスタッフが「若手落語会」のCM作成、「吉野町音楽空間」のYoutubeチャンネルの映像作成などに取り組んでいることを評価します。 ・指定管理者の強みを活かし、広報宣伝に取り組んでいることを評価します。 【更なる取組を期待する点】 ・自主事業については、新型コロナウイルス感染症対策を実施の上、文化活動の継続に向けて取組を続けることを期待します。 ・課題にも挙げられていた「コロナ禍での文化活動の企画・運営」について検討し、積極的に取り組むことを期待します。 ・今後も共同事業体によるメリットを存分に発揮しWEBを活用した効果的な広報活動に取り組んでください。
		□「親子で楽しむコンサート」入場者数	80名	中止	-	感染症拡大防止などを考慮し、中止		
		■親子で楽しむコンサート 体験を交えて親子で演奏を楽しむ機会を提供	80名	中止	-	感染症拡大防止などを考慮し、中止		
	②講座やワークショップを開催することで、文化芸術への理解・共感を高めていきます。	□「若手アーティストシリーズ」参加者数	240名(年3回)	42名(年1回)	-	4/20「みんなの音楽会～春～」は、令和3年3月に延期のちに感染症拡大防止等を考慮し、中止		
		□ギターワークショップ入門編(入門10回+発表会) スタジオA、ホール	30名	中止	-	感染症拡大防止などを考慮し、中止		
	③市民プラザでの芸術体験を通じて、地域への愛着につながるような内容、工夫ある事業を実施します。	□ギターワークショップ ステップアップ編(6～7回) スタジオA	30名	中止	-	感染症拡大防止などを考慮し、中止		
		□「横浜トリエンナーレ」関連事業:美術ワークショップ	15名	18名	A	8/15「光のオブジェをつくろう!」18名		
		□音楽ワークショップ(器楽や歌唱のワークショップ)	40名	中止	-	感染症拡大防止などを考慮し、中止		
		■「吉野町写真展」吉野町市民プラザと周辺の魅力を伝える写真展	1000名	中止	-	感染症拡大防止などを考慮し、中止		
		□「クリスマスコンサート2020」入場者数	1,000名(2日間)	158名(1日)	-	感染症対策を考慮し1日のみの開催、また同じ理由で学校からの参加は無し		
		□「アートアンドクラフト・マーケット2020」参加団体数	60団体(2日間×2回)	中止	-	「南まつり」「光のぶろむなあと」共に中止となり、不特定多数の方が来場される「アートアンドクラフトマーケット」も中止致しました。		
		■「南まつり」「光のぶろむなあと」に合わせて年2回手作り市を開催	開催	中止	-	「南まつり」「光のぶろむなあと」共に中止となり、不特定多数の方が来場される「アートアンドクラフトマーケット」も中止致しました。		
		□わたしのギャラリー出展数	20点(年間)	23	A	定期的に展示していただく方から好評の為、11月以降出展数が増えました。		
	□朝からグランドピアノ参加者数	延120名(年間)	111名	B	閉館などの為、実施できない期間もありましたが、ほぼ目標が達成できました。			
追1	□ホールでグランドピアノ	延60名(年間)	10名	-	9月以降、感染症拡大防止を考慮し中止			
2 次世代育成に取り組みます。	①次代を担う子どもたちが、文化芸術を通じて、豊かな創造性や感受性を育むことができる事業を実施します。	□吉野町アート寺子屋参加者数	延60名	39名	-	9月以降、感染症拡大防止を考慮し中止		
		□吉野町アート寺子屋開催数	年4回	2回	-	9月以降、感染症拡大防止を考慮し中止		
		□「親子で楽しむコンサート」入場者数(再掲)	80名	中止	-	感染症拡大防止などを考慮し、中止		
	②子どもたちが、自ら創作する喜びや、表現する楽しさを体験できる事業を実施します。	□子どもが作る光のワークショップ参加者数	20名	18名	-	8/15「光のオブジェをつくろう!」19名で開催。12月企画していたワークショップは、「光のぶろむなあと」中止に伴い中止しました。		
		■子どもたちの光のアート作品展(大岡川アートプロジェクト「光のぶろむなあと」)こどもたちが光の作品を制作し展示する機会の提供に協力	協力	達成	-	8/15「光のオブジェをつくろう!」ワークショップ開催後、8/16～21ギャラリーホワイエで作品展示。「光のぶろむなあと」は中止。		
	③子ども同士がお互いの個性を尊重し合いながら、交流し、自己表現の大切さ、コミュニケーション力を高められる機会をつくります。	■「あしおとでつながろうプロジェクト」言語、年齢、障がいの有無にかかわらず芸術体験機会に協力	協力	達成	-	ワークショップを重ね、3月22日にはタップダンサーで振付家のおどるなつこ氏、ピアニスト、映像演出家等が関わった即興パフォーマンスの配信ライブを実施、優先予約・広報面で支援。		
		□吉野町アート寺子屋参加者数(再掲)	延60名	39名	-	8/15「おやこホールたんけんツアー」21名、「光のオブジェをつくろう!」19名。その後も企画は検討したものの、感染症拡大などを考慮し実施せず。		
	□吉野町アート寺子屋開催数(再掲)	年4回	2回	-	8/15「おやこホールたんけんツアー」、「光のオブジェをつくろう!」の2回は実施。その後も企画は検討したものの、感染症拡大などを考慮し実施せず。			
	□水辺の光コンサート(大岡川アートプロジェクト「光のぶろむなあと」)出演団体数	12団体(2日間)	中止	-	「光のぶろむなあと」中止に伴い中止			
	④横浜市芸術文化教育プラットフォーム等、アウトリーチ事業の活用により、子どもたちが文化芸術を体験する機会を増やします。	□横浜市芸術文化教育プラットフォーム学校プログラム実施数	5校	4校	-	1校は内容も決定し、講師のスケジュール調整も済んでいましたが、緊急事態宣言発令により延期、のちに中止となりました。		

令和2年度 吉野町市民プラザ 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%以内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和2年度計画		実施状況		評価		
I 文化事業目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価	
3 市民協働、市民主体の活動を支援し、地域人財を育成します。	26 ①地域で文化活動を担う人財を育成するための事業を実施します。	□写真講座参加者数	15名	中止	-	感染症拡大防止などを考慮し、中止	【成果】 ・感染症拡大防止を考慮し、開催すると密になってしまうような対応が難しい事業は残念ながら中止と致しました。 ・全施設をすべて利用して感染症対策に取り組めた「吉野町音楽空間 Vol.4」は、応募者も多く抽選での出演とさせていただき、来場者の方も多く出演者・観客のみさんから好評のうちに無事終了できました。 ・安定して施設が確保できるという当館の独自企画「ウエルカムプラザ」は、お申込み団体数は目標を上回っていましたが、感染症拡大・閉館・営業時間短縮などの影響もあり、目標の半数という結果になりました。 【課題】 ・コロナ禍での空間の使い方、より広い施設の利用など、感染症対策を講じながら、自主事業を企画・運営をしていく方法を構築していかなければならないと思います。	
	27	□WEB・映像制作講座(初級)参加者数	15名	WEBに変更	-	吉野町市民プラザホールでライブ映像収録講座を作成し、「Music Space Anthology」サイトの「バンド撮影のコツ」として発信。		
	28	■ワークショップ修了フォローアップ事業参加者で組織するグループの活動を支援	活動支援	中止	-	感染症拡大防止などを考慮し、中止		
	29 ②市民が主体となって行う文化芸術活動を支援します。	□「ダンスステージ2020」参加団体数	10団体(2日間)	中止	-	感染症拡大防止などを考慮し、中止		
	30	□「吉野町音楽空間Vol.4」参加団体数 全館	8組(1日間)	9組	A	感染症対策を考慮し、全館を出演者の楽屋・控室として使用し、館内にはイベント参加者・観客のみという空間にして実施。 来場者数:98名		
	31	■アートアンドクラフト・マーケット(再掲)制作活動を行う地域の方が、日ごろの成果を展示、発表、交流できる機会作り	機会の提供	中止	-	感染症拡大防止などを考慮し、中止		
	32	□「アートアンドクラフト・マーケット2020」参加団体数(再掲)	延60団体(2日間×2回)	中止	-	感染症拡大防止などを考慮し、中止		
	33	□「ポップギターアンサンブルコンサート2020」入場者数	200名	中止	-	感染症拡大防止などを考慮し、中止		
	34	□ギャラリーホワイエ活用事業回数	15回	1回	C	ギャラリー・ギャラリーホワイエでの同時開催の展示予定もありましたが、感染症拡大のため出品数も減った為、大幅に事業の回数が減少しました。		
	35 ③市民団体とともに行う事業を通じて、施設と市民との良好な関係を築き、地域コミュニティの中核として認識されることを目指します。	■大岡川アートプロジェクト実行委員会への支援	活動支援	達成	-	毎月の定例会議などには出席しましたが、12月蒔田公園での実施は中止となりました。実行委員会が動画を作成したので、当館ホームページで記事を掲載し、リンクを貼り、より多くの方にご覧いただけるよう協力しました。		
36	□ウエルカムプラザ参加団体数	30団体	15団体	-	通常であれば目標数を超える利用団体でしたが、感染症対策の為、キャンセルが21団体ありました。			
37	□子どもが作る光のワークショップ参加者数(再掲)	20名	19名	-	8/15「光のオブジェをつくろう!」19名で開催。12月企画していたワークショップは、「光のぶろむなあと」中止に伴い中止しました。			
4 文化芸術を通じた地域のネットワーク形成への寄与、文化的コモンズ形成の牽引	38 ①各市民プラザをはじめ近隣の施設(文化・福祉等)や各種文化団体、商店街、自治会等とのネットワーク構築につとめ、関係性を強化します。	■大岡川アートプロジェクト「光のぶろむなあと」に参画し多様なネットワークを構築	実施	達成	-	毎月の定例会議などには出席しましたが、12月蒔田公園での実施は中止となりました。実行委員会が動画を作成したので、当館ホームページで記事を掲載し、リンクを貼り、より多くの方にご覧いただけるよう協力しました。	【成果】 ・南まつり、光のぶろむなあと等の大型野外イベントも中止となり、同じように不特定多数の方の来場が見込まれる自主事業は中止と致しました。 ・今年度初めて蒔田公園で家族・お子様向けの野外映画会が開催され、当館に機材協力・職員の派遣などの依頼がありました。このような地元のイベントには今後も、出来る限り協力していきます。 【課題】 ・「夏冬のアートアンドクラフトマーケット」は、開催すれば参加される団体数・入場者数も多くなるのですが、このような不特定多数の方が来館し、地元地域の皆さんが発表・交流できるイベントを、感染症対策を考慮しながら実施する難しさを実感しています。このようなイベントの再開に向けて、地元の方々・横浜市とも検討・調整していきたいと思っています。	
	39 ②地域のネットワークの中で継続した情報交換や共同事業、連携事業等を実施します。	■町のにぎわいつながり計画 定期的な交流機会を活用しつながりを継続	実施	達成	-	睦地域ケアプラザから依頼があり、堀ノ内睦町連合町内会主催による睦町公園での11/14家族向け野外映画会に機材・運営スタッフを提供し、地元のイベントに協力いたしました。		
	40	□子どもが作る光のワークショップ参加者数(再掲)	20名	19名	-	8/15「光のオブジェをつくろう!」19名で開催。12月企画していたワークショップは、「光のぶろむなあと」中止に伴い中止しました。		
	41 ③施設内外でのさまざまなアートプロジェクトと連携・支援するなど地域の文化コーディネーター役を担います。	■クリスマスコンサート2020(再掲) 近隣学校と連携	実施	中止	-	感染症対策の為、近隣学校の参加は中止		
	43	□「アートアンドクラフト・マーケット2020」(再掲)参加団体数	延60団体(2日間×2回)	中止	-	感染症拡大防止などを考慮し、中止		
5 地域コミュニティの形成・社会的包摂(ソーシャルインクルージョン)を推進します。	44 ①アートを通じて、多様性を認め合える豊かな地域の礎を築き、地域コミュニティの活性化と社会的包摂の推進に努めます。	□横浜市芸術文化教育プラットフォーム学校プログラム実施数(再掲)	5校	4校	-	1校は内容も決まり、スケジュール調整も済んでいましたが、緊急事態宣言発令により延期、のちに中止となりました。	【成果】 ・芸術文化教育プラットフォームも1校を除き、学校関係者の皆さんと共に感染症対策を行い、予定通り期間内に実施できました。 ・昨年度に続きおどるなつこさんが主宰されている「あしおとでつながろうプロジェクト」のワークショップ等に協力し、来年度は当館が申請したDance Dance Dance@YOKOHAMA 2021共催事業にも決定しました。 ・「光のぶろむなあと」が中止となりましたが、実行委員会の皆さんが動画を作成されたので、より多くの方にご覧になっていたよう当館H.P.に記事を掲載しました。 【課題】 ・芸術文化教育プラットフォーム・地域連携事業は事前打ち合わせ・準備・調整等の作業が多くなり、館外活動も多くなるので、職員のシフト・担当者の調整が困難になりやすい状況です。	
	45	■大岡川アートプロジェクト「光のぶろむなあと」(再掲)多様な市民が集う場の実現に協力し、地域コミュニティ活性化に寄与	協力	達成	-	毎月の定例会議などには出席しましたが、12月蒔田公園での実施は中止となりました。実行委員会が動画を作成したので、当館ホームページで記事を掲載し、リンクを貼り、より多くの方にご覧いただけるよう協力しました。		
	追1	■「あしおとでつながろうプロジェクト」言語、年齢、障がいの有無にかかわらず芸術体験機会に協力(再掲)	協力	達成	-	ワークショップを重ね、3月22日にはタップダンサーで振付家のおどるなつこ氏、ピアニスト、映像演出家等が加わった即興パフォーマンスの配信ライブを実施、優先予約・広報面で支援。		

令和2年度 吉野町市民プラザ 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%以内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

6 情報提供及び広報・プロモーションを実施します。	46	①メディア事業者を中心とする共同事業体の専門性を活かし、現在の市民プラザの“弱み”である情報提供・広報プロモーション力を強化します。	□tvk番組での事業告知・報告等回数	両プラザで月1回程度	7回	-	予定していた自主事業などが、感染症対策などのため中止となり、例年より大幅に件数が減少しました。	【成果】 ・年度初頭には予定していた写真講座なども、感染症拡大なども考慮し、中止とせざるを得ませんでした。ただ、JVの強みを生かし、自主事業の件数は減少しましたが、tvk番組内で効果的に告知しました。 ・自主事業の件数が減少し掲載すべき記事がない期間は、例年であれば毎月発行している「インフォメーション」を中止し、経費削減に努めました。 【課題】 ・「館長日誌」でフェイスブックを利用し、随時情報を発信していますが、他のSNSの使用なども検討していきます。
	47	②2つの市民プラザのホームページのデザイン、トーン&マナーの統一を図り、よりわかり易く利用しやすい発信をします。	■WEBページに新たなコンテンツの追加	実施	達成	-	R2.2/24実施の「吉野町音楽空間 Vol.3」の動画をYouTubeチャンネルに公開。当館ホームページにバナー画像を掲出。 R2.12/23ホールで収録したMusic Space Anthology H.P.用ライブ映像収録講座を公開	
	48		□WEBページ掲載記事数	150件	183件	A	目標は上回って紹介。	
	49	③WEB(SNS・動画含む)、紙媒体、テレビ、市広報等、クロスメディアによる広報プロモーションを行います。	□放送と神奈川新聞、タウンニュースと連携した広報を展開	実施	達成	-	自主事業の告知などに、タウンニュース・tvkなどの協力を得て、効果的に広報を展開しました。	
	50		□「プラザインフォメーション」発行回数	年12回	2回	-	自主事業の中止などに伴い、掲載記事が無いため、4月・5月・7月号以外は発行中止としました。	
	51		□「プラザインフォメーション」配布場所	150箇所	155箇所	B	発行した5月号は152箇所、7月号は155箇所でした。	
	52	④地域の人材を育成し市域全体のプラットフォームを設立	■まちづくり情報サイトの機能を、市民プラザホームページ内に構築	実施	達成	-	フェイスブック「館長日誌」で、館内外の日々折々の情報を発信しました。	
	53		■写真講座(再掲)文化活動に役立つ撮影講座を開催	実施	中止	-	昨年予定していた写真講座を延期し実施するつもりでしたが、感染症拡大の状況が改善されないため中止としました。	
53		□写真講座(再掲)参加者数	15名	中止	-	昨年予定していた写真講座を延期し実施するつもりでしたが、感染症拡大の状況が改善されないため中止としました。		
54		□WEB・映像制作講座(初級)参加者数(再掲)	15名	WEBに変更	-	吉野町市民プラザホールでライブ映像収録講座を作成し、「Music Space Anthology」サイトの「バンド撮影のコツ」として発信。		

評価項目		令和2年度計画		実施状況		評価			
II 施設運営目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価		
1 市民の文化芸術活動の発表・創作活動を始めとする多様な市民利用への施設の提供を行います。	①さまざまなニーズに対応する、公平・公正なサービス提供を行います。	■企画から本番まで、お客様の立場で相談に応じ、チケット販売や広報に協力	実施	実施	-	企画から本番まで、様々な相談に応じ、チケット販売や広報に協力。	【成果】 ・お客様の立場に立った柔軟な対応を心がけ、感染症対策のガイドライン更新にも迅速に対応し、利用予定者の皆様への詳細な説明なども行っています。閉館期間・利用時間短縮の要請や感染症拡大によるキャンセル等もあり、施設利用率は大幅に目標を下回りました。 ・感染症拡大防止の為、消毒・換気作業に一定の時間が必要なため、コマ間の延長利用は6月以降中止といたしました。お客様から依頼は受けるのですが、現在の状況をご説明しご理解いただいています。 【課題】 ・感染症拡大が落ち着きはじめた時に、施設の利用率を以前の状況に戻せるよう利用内容の詳細な説明等をし、「プラザインフォメーション」の発行なども含め、あらためて当館施設のご案内に努力します。 ・利用者の中に一定数存在する情報弱者に向けての対応と、ガイドライン設定への理解を深める情報提供が課題です。	【評価する点】 ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を適正に実施したことを評価します。 ・職員内での情報共有に取り組み、日々の運営に反映させていることを評価します。 【更なる取組を期待する点】 ・引き続き、個人情報の管理の徹底や適切な施設の提供を行ってください。 ・料金に関するご案内や新型コロナウイルス感染症拡大防止対策にあたっての必要事項等の説明については、施設職員内で周知徹底し、ご利用者への丁寧な対応を心がけてください。 ・効率の良い施設運営に向けて、両市民プラザ間での情報共有、ノウハウの共有に一層取り組むことを期待します。 ・今後も継続して個人情報取扱、コンプライアンス研修の定期的な実施をお願いします。	
		■交替勤務による情報伝達不足がないよう、ネット上の情報共有ツールや、ノート等で情報共有	実施	実施	-	スタッフ共有のグループメール、グーグルカレンダー、カルチャースタッフの連絡ノートといったツールを常に活用し、情報共有を実施。			
		■利用相談・見学会の開催	開催	開催	-	8月15日「おやこ たんけんツアー」を開催し、ホールのバックステージを見学説明。			
		■来館や電話、eメールによる利用に関する相談や助言は、随時受け付け	実施	実施	-	来館・電話・代表メールからの利用に関する相談や助言を随時受け付け細かい対応を心掛けた。施設見学は、利用の状況を確認しながら、受付している。			
		②利用率が高まる工夫を行います。	■若い利用者へのアピール「U25割引制度」	実施	実施	-			若い利用者への利用促進事業「U25割引制度」はイベントカレンダーやホームページで随時紹介。
		■予約システム受付終了後も公演・展示利用を受付	実施	実施	-	ホール、ギャラリーの利用日間近の予約も受け付け、柔軟な利用を可能とした。			
		■コマ間の延長利用に柔軟な対応	実施	実施	-	感染症防止対策の為、利用コマの前後は換気・消毒が必要となる為、6月9日以降は前延長・後延長は中止としました。			
		■営業担当者によるPR活動	実施	実施	-	イベントカレンダーの配架(4月・5月・7月号のみ)および利用に結び付く案内を実施。広告枠に利用者の希望する広告や地域に根ざした企業へのアプローチを行った。			
		9	□目標利用率						
ホール	97%(日)	66%	-						
ギャラリー	62%(日)	24%	-						
会議室	56%	28%	-						
スタジオ(A~C平均)	81%	51%	-						
2 利用者ニーズの把握及び利用者サービスの向上、アイデアノウハウを一層活用します。	①来館者・利用者からのご要望・ご意見を受け止め、積極的に取り入れることでサービス向上につなげます。	■要望苦情は全スタッフで共有	実施	実施	-	事務所内スタッフ共有のグループメールやカルチャースタッフへの連絡ノートを活用し、要望苦情を共有。	【成果】 ・緊急事態宣言中の対応、更新されるガイドライン等に関してのお問い合わせが多数寄せられました。一つ一つ丁寧にご理解いただけるようできる限り対応いたしました。 【課題】 ・感染症対策やガイドラインについて、ご利用のお客様にご理解いただけるよう、今後もできる限り丁寧に対応していきます。		
		■緊急度・重要度から優先順位を決め、順次取り組み	実施	実施	-	個人情報関連などの重要事項については、全スタッフで随時研修を実施して対応。			
		■対応後は検証を行い、より良い改善につなげる	実施	実施	-	対応後、その日その場での検証を行い、職員会議で共有してより良い対応を検討し、必要に応じて運用を変更した。			
		□接客研修実施回数	年1回	中止	-	5月12日に実施予定だったが、感染症対策の為延期とする。その後緊急事態宣言の発令などで、日程調整ができず今年度は中止。			
		②対象に応じた情報収集のツールを活用した、来館者・利用者ニーズの把握・分析に基づく、サービスの向上	■ご意見箱、受付時の対応、公演時アンケートなどを通じ、利用者ニーズを把握	実施	実施	-		ご意見箱(1件)、受付時の対応、公演時アンケートなどを通じ、利用者ニーズを把握。	
③地域の情報発信拠点としての顔をつくる取組	■動画を作成し、来場者への発信を強化	実施	達成	-	R2.2/24実施の「吉野町音楽空間 Vol.3」の動画をYouTubeチャンネルに公開。当館ホームページにバナー画像を掲出。 R2.12/23ホールで収録したMusic Space Anthology H.P.用ライブ映像収録講座を公開				

令和2年度 吉野町市民プラザ 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%以内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和2年度計画		実施状況			評価	
Ⅱ 施設運営目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価	
3 組織的な施設運営を行います。	① 適切な運営組織体制と人材の配置	□共同事業体各社の得意分野を運営に活かす職員配置数	館長 1、副館長 1、事業担当 2、管理担当 1、舞台技術担当 1、運営補助3、受付担当 5人員相当	館長 1、副館長 1、事業担当 2、管理担当 1、舞台技術担当 1、運営補助3、受付担当 5人員相当	館長1、副館長1、事業担当2、管理担当1、舞台技術担当1、運営補助3、受付補助5人員相当	【成果】 ・事務室および舞台技術者9名、受付補助5名で、利用者への対応、施設管理など確実に運営しました。 ・運営の肝である、始業前の朝礼を毎日1回、職員会議月1回、運営会議4回、全体集合研修を2回、および企画検討会を随時行い、確認・振り返りを行い、日々の運営に反映させました。 【課題】 今後も日常点検、確認・共有の場である会議を行い、安心安全な施設を保ちます。		
	② 組織内の情報共有及び主要人材の能力確保	□各種会議の実施数	朝礼 1回/日 職員会議 1回/月 運営会議 4回/年 企画検討会 随時	朝礼 1回/日 職員会議 1回/月 運営会議 4回/年 企画検討会 随時	朝礼:1日1回、職員会議:1か月1回、運営会議:年4回、 企画検討会:随時			
		□職員研修回数	年2回	2回	B			12/8、3/9集合研修実施
4 個人情報保護等、本市の重要施策を踏まえた取組を実施します。	①個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注等の取組の実施	■個人情報チェックリストにより、定期的に点検。ヒヤリ・ハット事例を共有し、意識を高めるための研修を実施	実施	達成	-	【成果】 ・インターネット上で、申込時の個人情報を安全に取り扱うフォームを、事業参加受付に活用し、利用者の利便性向上に努めました。 ・個人情報チェックリストにより定期的に点検しました。ヒヤリ・ハット事例を共有し、意識を高めるための研修を1回実施しました。 ・文化施設としての快適性を確保しつつ、「管理標準」を活用して利用者が立ち入らない場所の節電を徹底するなど積極的に取り組みました。 【課題】 ・個人情報取扱、コンプライアンス研修は、今後も定期的に実施します。		
		■インターネット上で、申込時の個人情報を安全に取り扱うフォームを、事業参加受付に活用	実施	実施	-			
		■施錠管理やデータのパスワード管理を徹底	実施	達成	-			
		■「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」にそって情報開示	実施	達成(研修実施)	-			
		■人権に配慮した運営、接遇	実施	達成	-			
		■快適性を確保しつつ、節電に積極的に取り組む	実施	達成	-			
	■「横浜市中心小企業振興基本条例」を鑑み優先発注	実施	達成	-				

評価項目		令和2年度計画		実施状況			評価	
Ⅲ 維持管理目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価	
1 施設及び設備の維持保全及び管理を行います。	①施設の安全・安心・快適環境維持と長寿命化対応の実施	■日常点検時定期点検時に発見した不具合については随時補修し施設の安全性を	実施	達成	-	【成果】 ・施設設備システムの点検・補修は、毎日の職員点検とともに専門業者による定期点検を着実にこなし、ゴミは横浜市のルート回収に参加して処理しました。 【課題】 ・日々の点検で異常を早めに見つけ対処し、大きな損害・被害が出ないよう努めていますが、1989年に開館30年以上を経過しているため、施設躯体そのものの老朽化とともに、設備システムへの影響も出始めています。 【更なる取組を期待する点】 ・新型コロナウイルス感染症対策については、感染症対策の手段等を含め、事業体間でも情報共有を行いながら進めていくことを期待します。 ・施設利用者の安全を第一に考え、適切な小破修繕の実施に取り組んでください。 ・利用者にとって快適で清潔な施設環境の維持をお願いします。また、施設の不具合の情報については、市との情報共有を引き続き積極的に行ってください。		
		■消防設備及び法定点検を計画通り実施し発見された不具合の修繕を確実に実施	実施	達成	-			
	②保守点検、備品管理、環境維持の実施	■公共施設として必要不可欠な安全性と清潔感を保ち、かつ施設設備の機能維持を図るため、施設点検のための休館日を設定	実施	達成	-			
		■連続する作業可能日を設定	実施	達成	-			
		■「管理標準」により、地球環境に配慮しながら、快適な環境を維持	実施	達成	-			
		■「業務の基準」に則り物品管理簿により管理	実施	達成	-			
		■巡回清掃の実施、美観・衛生管理を強化するなど、業務の基準を満たしながら、利用実態に則した満足度を向上させる清掃	実施	達成	-			
		■年間排出計画を定めて適切な分別、リサイクルの推進など廃棄物の発生抑制	実施	達成	-			
		■横浜市のルート回収に参加	実施	達成	-			
		□定期的な施設点検日と職員研修(防災訓練等)日	月1~2日	月1~2日実施	B			
		□エレベータの保守点検回数	毎月1回	毎月2回実施	B			
2 小破修繕を着実に実行します。	①小破修繕の取組	□巡回点検実施回数	毎日1回	毎日1回以上実施	B			
		■日常の保守管理のなかで優先的順位をつけながら小破修繕	実施	達成	-			
		■更新が必要なものについては横浜市と協議	実施	達成	-			

令和2年度 吉野町市民プラザ 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%以内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和2年度計画		実施状況		評価		
Ⅲ維持管理目標		指定管理者提案(要旨)		実績		自己評価		
		達成指標	目標	実績	特記事項	行政評価		
3 事故予防及び緊急時の対応を確実にいきます。	15	①事故防止体制・防犯、緊急時の対応・感染症対策等衛生管理の実施	■消防設備や避難経路の案内図を掲示	実施	達成	-	消防設備や避難経路の案内図を常時視認できるよう表示しました。	【成果】 ・設備系統の保守点検契約を結び、着実に維持管理しました。 【課題】 ・職員の日常点検から異常や不具合を見つけることも多く、日常点検の大切さを感じますが、職員では対応できない事態も多く、老朽化対策は必須だと感じます。
	16		■建築設備、舞台設備不具合に迅速に対応し故障・停止を未然に防ぎ安全確保	実施	達成	-	建築設備、舞台設備の保守点検契約を結び、設備を維持管理しました。	
	17		■緊急時の連絡網を作成し市と共有・連携	実施	達成	-	緊急連絡網を作成し、横浜市に提出し、必要時には連絡を取り合いました。	
	18		■職員が館内を巡回し、日常の衛生管理を徹底	実施	達成	-	職員が毎日1回以上巡回点検し、衛生管理を徹底しました。日常清掃に加え、利用時間前・利用者入替時に、各室場のアルコール等を用いた除菌清掃を実施。	
4 防災に対する取組を行います。	19	①日常の取組、危機管理マニュアルの整備、防火・防災の取組、災害備蓄等の実施	■災害や危機が発生した場合、「人命の尊重」「生命の安全確保」を第一に対処	対応できる体制づくり	達成	-	勤務実態に即した防災訓練を実施し、災害や危機が発生した場合、人命の尊重、生命の安全確保を第一に全員が行動できる体制を整えた。また感染症拡大防止のため、日常的な除菌清掃作業、利用者にもご協力をお願いしての各施設の定期的な外気換気・機械換気を実施した。	【成果】 ・非常時に備えた飲料水やレスキューセットは適宜確認し、必要時にはすぐに持ち出し利用できるようにしました。 ・感染症対策にも対応し、日常的に除菌・消毒・換気を行い、お客様にもご理解をいただき、協力していただきました。 【課題】 ・緊急時・災害時は的確な判断とともに、限られた人員で適切な対応が求められるので、日常点検に加え、大規模な訓練を実施することで、災害時に生かせるよう備えたいと思います。
	20		■地震、津波、停電、交通遮断、救急要請に対応した、危機管理マニュアルを作成	実施	達成	-		
	21		■環境創造局南部水再生センター(吉野ポンプ場)とも連携して活動	実施	達成	-		
	22		■防火・防災訓練については、所管の南消防署と相談	実施	達成	-	水消火器による消火訓練、地震発生時初動訓練、情報伝達訓練を実施した。	
	23		■非常時に備え、ヘルメット、レスキューセット、飲料水、非常食、簡易トイレ、簡易毛布、携帯ラジオ等を常備	実施	達成	-	非常時に備え、ヘルメット、レスキューセット、飲料水、非常食、簡易トイレ、簡易毛布、携帯ラジオ等を常備。消費期限、点灯確認し一部入替えをした。	
	24		■災害発生時には、南区との協定に基づき、災害ボランティアセンターの設置(新規)	実施	達成	-	南区と災害ボランティアセンター協定を締結しました。	
25		□防災訓練の実施回数	年2回	2回(集合訓練)	B	12/8、3/9実施しました。		
5 その他の管理に関する事項を実施します。	26	①適切な許認可及び届出等	■許認可及び届出等が必要な場合は、適切に処理	実施	達成	-	防火対象物点検報告書特例認定、イベント時の食品手続きを適切に処理しました。	【成果】 ・許認可業務を確実にいき、横浜市から発せられる基準等は都度確認し、全員への共有の徹底と、利用者へはわかりやすく伝えるよう努めました。 ・人権研修も行き、日常運営に生かしました。 【課題】 ・法律や各種基準の改定には常に情報収集を行い確認し、対応にあたります。
	27	②施設の目的外使用	■自動販売機等の目的外使用の手続きを実施	実施	達成	-	目的外使用手続きを適切に行いました。	
	28	③名札の着用	■各部門に従事する者は名札を着用	実施	達成	-	プラザに勤務従事するスタッフ全員名札を着用し業務にあたりました。	
	29	④人権の尊重	■人権に関する講習会等に参加	実施	達成	-	人権研修を1回実施しました。	
	30	⑤近隣対策	■騒音や利用者の迷惑行為に関して、近隣対策を実施	実施	達成	-		
	31	⑥書類の管理	■各書類の保存期間を定め、保管・管理	実施	達成	-	各書類の保存期間を定め、保管・管理しています。	
	32	⑦行政機関が策定する基準等の遵守	■行政機関が制定する基準等を遵守	実施	達成	-	行政機関が制定する基準等を遵守しています。	
	33	⑧法律の制定及び改正への対応	■法律が制定及び改正された場合、横浜市と協議し対応	実施	達成	-	感染症拡大防止ガイドライン・緊急事態宣言等発令・更新の際には適正に対応しました。	

評価項目		令和2年度計画		実施状況		評価		
Ⅳ収支		指定管理者提案(要旨)		実績		自己評価		
		達成指標	目標	実績	特記事項	行政評価		
1 適切な収支構造及び収支バランスを保ちます。	1	①適切な収支構造及び収支バランス	■指定管理料にたよらない収入構造を確立するため、民間のノウハウを生かした事業計画の立案と効率的実施	実施	実施	-	事業の性格を見極め、各事業ごとに算出・設定しました。	【成果】 ・感染症拡大防止や緊急事態宣言の発令などのため、臨時休館及びお客様へ利用時間の短縮の要請等を行い、利用率は大幅に減少しました。自主事業も数多く中止となりました。 【課題】 ・次年度以降も常に収支を意識して運営し、コロナ禍での収支の改善を目指したいと思います。
	2		■収入に対し、管理費、事業費、人件費の割合を精査	実施	実施	-		
3 経費削減及び効率的な運営努力を行います。	3	①利用料金収入を確保します	□目標利用率 ホール 97%(日) ギャラリー 61%(日) 会議室 56% スタジオ(A〜C平均) 81%		66% 24% 28% 51%	-	コロナ禍で1年を通し利用が大幅に落ち込みました。感染症拡大によるキャンセル、利用時間短縮の要請によるキャンセルは多数となりました。	【更なる取組を期待する点】 ・自主事業による事業収入を基本としつつ、助成金や協賛金の獲得に向けた取組も引き続き行うことを期待します。
	4	②共同事業体の得意分野を活かした営業・広報強化による増収策や、コスト削減など、収支構造を再分析し、短期的、中期的なビジョンを構築	■電力を入札で調達し、コスト削減	実施	達成	-	電力を入札で調達し、コストを削減しました。	
	5		■営業ノウハウを持つ担当者の配置と協賛金獲得活動を実施	実施	達成	-	Music Space Anthologyで神奈川県文化芸術再開加速化事業補助金を受けました。	
	6		■メーカー系スポンサーからCM出稿される商品のサンプリングを実施	実施	対応事例なし	-	感染症拡大の影響で自主事業が減少、また感染症対策も考慮し実施しませんでした。	
	7	①コスト削減の徹底 事業費、管理費、事務費について可能な限りの経費削減を実施	■空調や照明などエネルギーの使用量を可能な限り削減し、光熱水費の削減	実施	達成	-	利用状況をみながら徹底的な管理をしましたが、感染症対策の為、通常より換気・清掃等の対応が必要になったため電力消費が増えました。	
8		■事業費、事務費について職員全員が削減意識を持ち経費削減	実施	達成	-	事業費、事務費、管理費全般にわたって職員がコスト意識を持ち削減に努め、発注先も見直しながら最も安価な金額提示の業者への委託・購入を励行しました。		

令和2年度 吉野町市民プラザ 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%以内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和2年度計画		実施状況			評価	
V PDCAサイクルの確実な運用		指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価
PDCAサイクルを確実に運用します。	1	①各種日報・月報を作成します	■各種日報を作成	実施	達成	-	【成果】 報告書類は適正に作成・報告・保存しました。 【課題】 引き続き、適正に処置します。	
	2		■月報を作成し、モニタリング時に提出	実施	達成	-		
	3		■各日報・月報を適切に管理保存	実施	達成	-		

評価項目		令和2年度計画		実施状況			評価	
VI 留意事項		指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価
	1	①必要な保険に加入します	施設賠償責任保険(賠償責任保険《施設、昇降機、自動車管理者》、動産総合保険、レジャー・サービス施設費用保険に加入	実施	実施	-	【成果】 ・各事業ごとに適応した各種保険に加入し、対応しました。 ・研修を行うなど法令順守に取り組みました。 ・横浜市とのモニタリングのほか、館長会議、JV会議を予定通り実施しました。 【課題】 ・今後も必要な保険の加入、および横浜市をはじめとする必要機関との会議を着実に履行します。	
	2	②日本国法令、条例、施行規則を遵守します。横浜市個人情報の保護に関する条例を遵守します。	横浜市個人情報の保護に関する条例、罰則の適用等に関する研修を年1回以上実施	1回	1回	B		
	3	③公の施設の管理者として情報公開に取り組みます。	「横浜市市民プラザ情報公開規定」を遵守	実施	実施	-		
	4	④横浜市及び関係機関との連絡調整会議を開催します。	横浜市とのモニタリングを月1回開催 プラザ館長会議の実施 年6回 JV会議の実施 年4回	モニタリング月1回、プラザ館長会議年6回、JV会議年4回	達成	-		

評価項目		令和2年度計画		実施状況			評価	
その他		特記(提案事項要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価
1	2つの市民プラザを一体で運営します	①共同事業実施による市民文化活動の交流拡大 ②教育プラットフォーム学校プログラムコンテンツ拡充、効率化 ③スケールメリットによるファンドレイジング活動、利用促進活動の推進 ④一体管理による安全・安心、快適な施設管理と長寿命化への対応	■若手落語会や市民参加の音楽事業を2館共同で開催 ■tvk番組内コーナーでの事業告知を両プラザ交互に月1回実施 ■人的資源やノウハウを2館共通で活用し、管理・運営面でも連携	実施	達成	-	【成果】 ・2館連携事業の開催および2館共同での事業告知をtvk番組でコンスタントに紹介しました。2館だけでなく関内ホール・みどりアートパークの協力も得て「Music Space Anthology」を新規事業として実施しました。 【課題】 ・設置年がほぼ一緒の両館で設備面の情報共有および事業の際の人員応援などを積極的に実施するとともに、人員交流も図っていきます。	【評価する点】 ・両市民プラザの連携事業を継続的に実施していることを評価します。 ・関内ホールや緑区民文化センターも含めた4館連携事業を新規事業として実施していることを評価します。 【更なる取組を期待する点】 ・両プラザの連携による効率的な安定的な運営、4館連携事業などの更なる展開を期待します。

評価項目		令和2年度計画		実施状況			評価	
総括		特記(提案事項要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価
1							令和2年度は、緊急事態宣言の発令・延長などコロナ禍で先々の見通しがわからない状況の中、臨時休館、営業時間短縮の要請、ガイドラインの更新による利用内容の変更等に随時対応していく必要があり、施設の運営・管理が困難な1年となりました。感染症予防対策を最優先し、消毒・換気などを常に気遣いながら、お客様に安心してご利用いただけるよう心掛けてまいりました。残念ながら企画・予定していた自主事業は感染症拡大防止などを考慮し、そのほとんどを中止とせざるを得ませんでした。毎年恒例となった「吉野町音楽空間」、「若手落語会」など、数少ないながらも来館されたお客様・出演者の皆様からは好評をいただく公演も実施することができました。また、「ヨコハマトリエンナーレ2020」応援プログラムとなる「アート寺子屋 光のオブジェをつくろう！」を実施し、コロナ禍で夏休み中のイベントが少ない期間に、貴重なワークショップ・作品展示が実施できました。共同企業体の高い専門性を活かし、お客様の立場を尊重する運営とともに、小破修繕、清掃、点検など日常管理を着実に、職員・スタッフが一丸となって安全管理、感染症対策やお客様対応にあたりました。今後はコロナ禍での文化活動について検討を進め、直接足を運んでいただかなくても利用者に楽しんでいただけるよう、動画配信に対応できる事業をより多く企画・検討していきます。	令和2年度は新型コロナウイルス感染症という未曾有の災害に見舞われた年でした。厳しい状況の中、事業体のバックアップやノウハウの共有により、大きな混乱やトラブルなく対応していることを評価します。今後も、事業体間・地域・他の文化施設・本市などと連携した取り組みを行い、前例のない危機にも柔軟かつ適正な対応を行える体制づくりに努めてください。事業に関しては、感染症の影響で中止や利用人数の制限による縮小開催を余儀なくされる一方で、感染症対策の上、文化活動の継続に努めていることが確認できました。特に、厳しい財政状況のなか、公的助成金の獲得を達成し、それによって新規事業を実施していることを高く評価します。令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響が続くことが見込まれますが、引き続き助成金や協賛金等の獲得に積極的に取り組んでください。施設の管理運営については、引き続き適正に維持管理し、速やかに修繕対応等の検討が進められるよう、関係者への情報共有を行ってください。新型コロナウイルス感染症の影響により動画配信等、ウェブでの事業展開の需要が高まることが見込まれます。指定管理者の強みを活かし、今後もコロナ禍での文化施設運営について検討を重ねることを期待します。吉野町市民プラザは地域コミュニティとの関わりも深く、コロナ禍で苦境に立つ地域の文化活動にとって重要な役割を担っています。培ってきたノウハウを生かし、より多くの市民に愛され親しまれる施設を目指してください。